

平成26年3月期 決算説明会

平成26年5月23日
株式会社 学究社
(証券コード:9769)

| | |
|------------|------|
| I . 決算概要 | P.3 |
| II . 今期の戦略 | P.8 |
| III . 参考資料 | P.19 |

I . 決算概要

（単位：百万円、％）

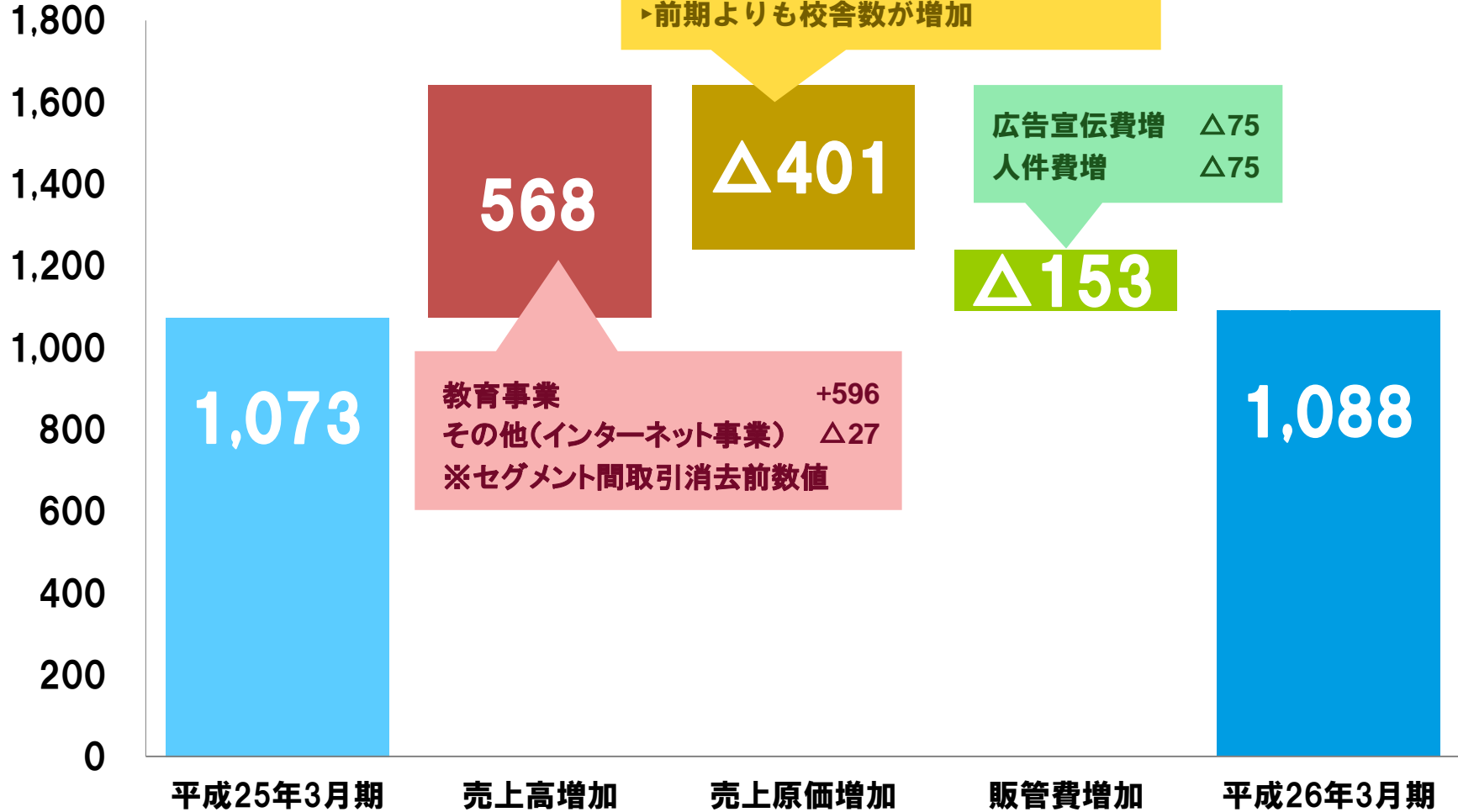
| | 平成25年3月期 | 平成26年3月期 | | 前年同期比 | |
|-------|----------|----------|-------|-------|-----|
| | 金額 | 金額 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 7,990 | 8,559 | 100.0 | 568 | 7.1 |
| 営業利益 | 1,073 | 1,088 | 12.7 | 14 | 1.4 |
| 経常利益 | 1,081 | 1,104 | 12.9 | 22 | 2.1 |
| 当期純利益 | 559 | 595 | 7.0 | 36 | 6.6 |

前年との比較—増収増益

- 「ena」（集団授業）、「マイスクールena」（個別指導）に関する生徒数は順調に推移
特に、前々期に新規出校した校舎が売上高・利益獲得に貢献
（参考：新規出校は、平成23年3月期で16校、平成24年3月期で22校）
- 生徒数獲得に向けた広告宣伝強化による経費増

営業利益の増加要因

(単位:百万円)



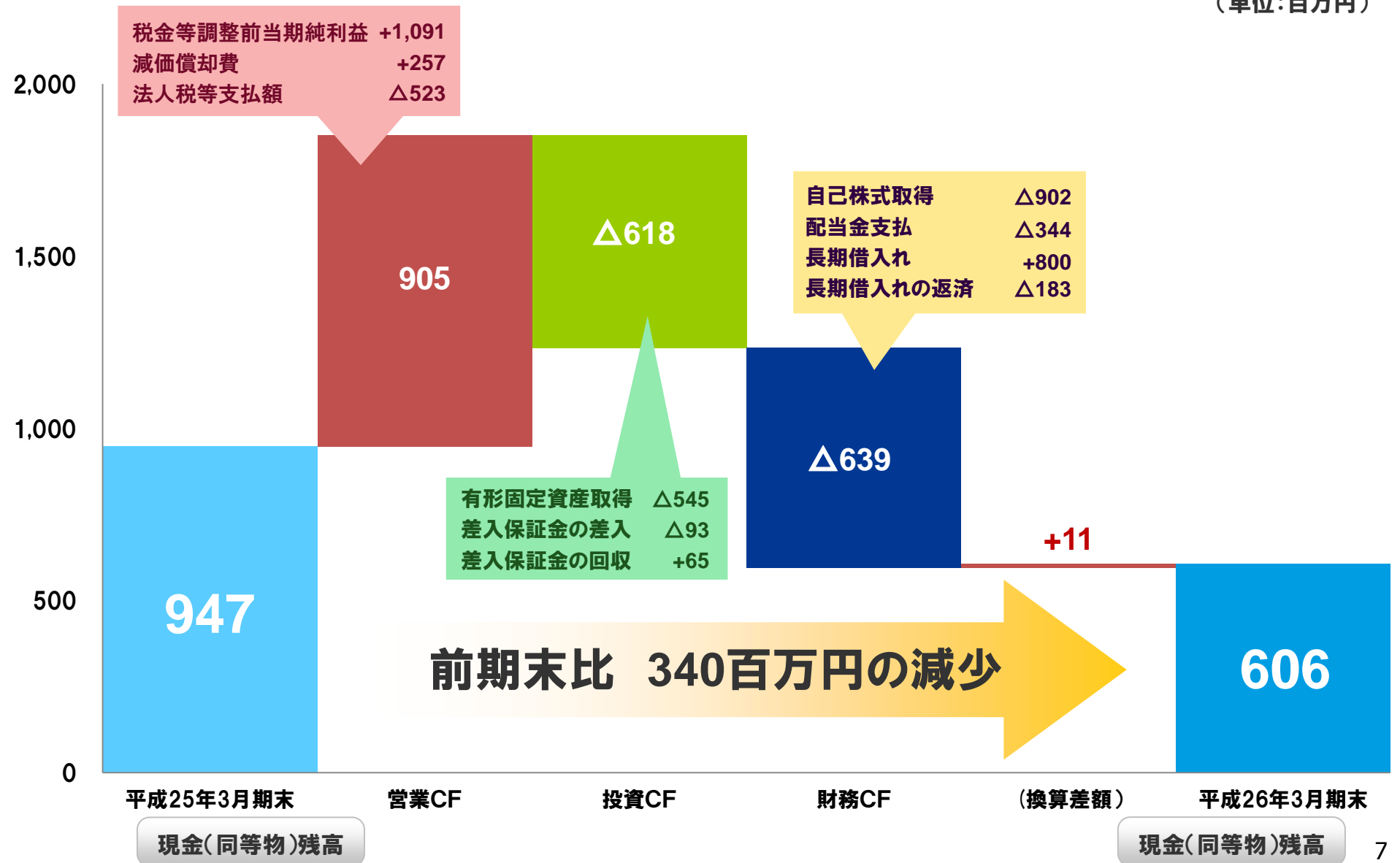
貸借対照表（連結）

（単位：百万円、％）

| | 平成25年3月期末 | | 平成26年3月期末 | | | 主な増減要因 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|---|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | |
| 流動資産 | 1,346 | 27.4 | 1,033 | 21.3 | △313 | 資産 ●現預金の減少(配当金、法人税等の支払い) ●新規出校・新規合宿施設取得に伴う固定資産の増加 |
| 固定資産 | 3,571 | 72.6 | 3,817 | 78.7 | 245 | |
| 資産合計 | 4,917 | 100.0 | 4,850 | 100.0 | △67 | |
| 流動負債 | 1,779 | 36.2 | 1,898 | 39.1 | 119 | 負債 ●自己株式取得資金として長期借入れ(800百万円) |
| 固定負債 | 358 | 7.3 | 802 | 16.6 | 443 | |
| 負債合計 | 2,138 | 43.5 | 2,701 | 55.7 | 563 | |
| 純資産合計 | 2,779 | 56.5 | 2,149 | 44.3 | △630 | 純資産 ●自己株式900百万円の取得 ●配当金346百万円の支払い ●当期純利益595百万円の計上 |
| 負債・純資産合計 | 4,917 | 100.0 | 4,850 | 100.0 | △67 | |

学究社 キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）



税金等調整前当期純利益 +1,091
減価償却費 +257
法人税等支払額 △523

自己株式取得 △902
配当金支払 △344
長期借入れ +800
長期借入れの返済 △183

有形固定資産取得 △545
差入保証金の差入 △93
差入保証金の回収 +65

現金(同等物)残高

現金(同等物)残高

Ⅱ. 今期の戦略

（単位：百万円、％）

| | 平成26年3月期 実績 | | 平成27年3月期 予想 | | | |
|----------------|-------------|---------|-------------|-------|---------|-------|
| | 上期 | 通期 | 上期 | 前年同期比 | 通期 | 前年同期比 |
| 売上高 | 4,191 | 8,559 | 4,510 | 7.6 | 9,270 | 8.3 |
| 営業利益 | 573 | 1,088 | 660 | 15.2 | 1,340 | 23.1 |
| 経常利益 | 578 | 1,104 | 670 | 15.9 | 1,360 | 23.2 |
| 純利益 | 315 | 595 | 410 | 29.9 | 830 | 39.3 |
| 一株当たり 当期純利益 | 57.69円 | 110.02円 | 76.62円 | | 155.12円 | |
| 売上高 営業利益率 | 13.7 | 12.7 | 14.6 | | 13.8 | |

- 新規出校計画 「ena」25校程度
- 新宿セミナー3校舎の新規開校
- 授業料の改定(全体で5～8%UP)、無料制度の見直し
- 引き続き、都立中高一貫校及び都立難関高校の入試対策コースの充実に努める

1. 都立中高一貫校、都立難関高校の対策塾へ他塾に先駆けシフトチェンジ

- ・都立復権、コストパフォーマンスにより、都立中高一貫校、都立難関高校の人気の高まることを予期し、この新しい市場への対応を中心とする進学塾へ他塾に先駆けてシフトチェンジ。
- ・他塾では、私立中高一貫校、名門私立大学付属中高という従来からの市場への対応を中心としているため、この新しい市場において、他塾を大きく引き離している。

2. 都立中高一貫校受検における抜群の合格実績

- ・平成26年入試において、全都立中高一貫校11校(含区立九段中)に576名(前年度514名)合格し、合格者数実績No.1を獲得することができた。
- ・南多摩中、立川国際中、三鷹中、武蔵高附属中、大泉高附属中、富士高附属中の6校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

3. 都立難関高校受験における高い合格実績

- ・平成26年入試において、都立難関高校7校に408名(前年度315名)の合格実績を出すことができた。
- ・国立高、国分寺高、立川高、八王子東高の4校において、合格者数実績No.1を獲得することができた。

合格実績

全都立中11校合計で1位を獲得

| | | | |
|-------------|---|-------------|----------|
| No.1 | 都立南多摩中 | 98名 | (占有率61%) |
| No.1 | 都立立川国際中 | 97名 | (占有率65%) |
| No.1 | 都立三鷹中 | 93名 | (占有率58%) |
| No.1 | 都立武蔵高附属中 | 76名 | (占有率63%) |
| No.1 | 都立大泉高附属中 | 52名 | (占有率43%) |
| No.1 | 都立富士高附属中 | 50名 | (占有率42%) |
| | 都立小石川中・都立桜修館中・ 都立白鷗高附属中・都立両国高附属 中・区立九段中 | 110名 | |

都立難関高校

| | | | |
|-------------|---------|------------|----------|
| No.1 | 都立国立高 | 97名 | (占有率27%) |
| No.1 | 都立国分寺高 | 89名 | (占有率28%) |
| No.1 | 都立立川高 | 79名 | (占有率25%) |
| No.1 | 都立八王子東高 | 60名 | (占有率19%) |
| | 都立西高 | 46名 | |
| | 都立戸山高 | 24名 | |
| | 都立日比谷高 | 13名 | |

合計
576名

(前年度 514名)

※立川国際中の占有率は一般枠定員に対する数値です。

※上記実績には区立九段中を含みます。

※全都立中11校の一般定員合計に対する占有率は36%です。

合計
408名

(前年度 315名)

1. 少子化による教育関連市場の縮小

教育関連業界全体では、少子化の影響で市場規模が縮小傾向にある。しかしながら、東京都内及び近郊エリアに限ってみれば、人口流入により学齢人口の増加が続いている。

2. 不況による教育費支出への影響

各世帯において、私立中学・高校への進学という投資が卒業後の進路にどのような成果をもたらすかという意識が高まる中、都立中高一貫校及び都立難関高校の人气が上昇している。



当社の強みを生かし、都立中高一貫校・都立難関高校入試の合格実績シェアをさらに高めていく。

G 学究社 具体的施策2 合宿場の充実

清里合宿場(旧 清里自然学校)に続き、新たに富士山合宿場(旧 経団連ゲストハウス)が誕生します。

- ・富士山を展望できる、大自然に囲まれた約14,000㎡の広大な敷地
- ・夏期合宿、週末合宿等に活用
- ・平成26年5月ゴールデンウィークより稼働



3. 月額授業料の改定

従来は税込で2万円以下

⇒平成26年度より、税抜で2万円以下に改定

(全体平均で5～8%の価格up)

4. 無料制度の見直し

新小3生：有料(無料制度は全面撤廃)

新中1生：小6時に通塾、かつ、都立中不合格者が無料

新高1生：指定高校へ進学した者が無料

5. 校長候補を中心に新卒・中途を採用。研修の充実。

新卒採用計画

平成26年3月期:46名(実績)

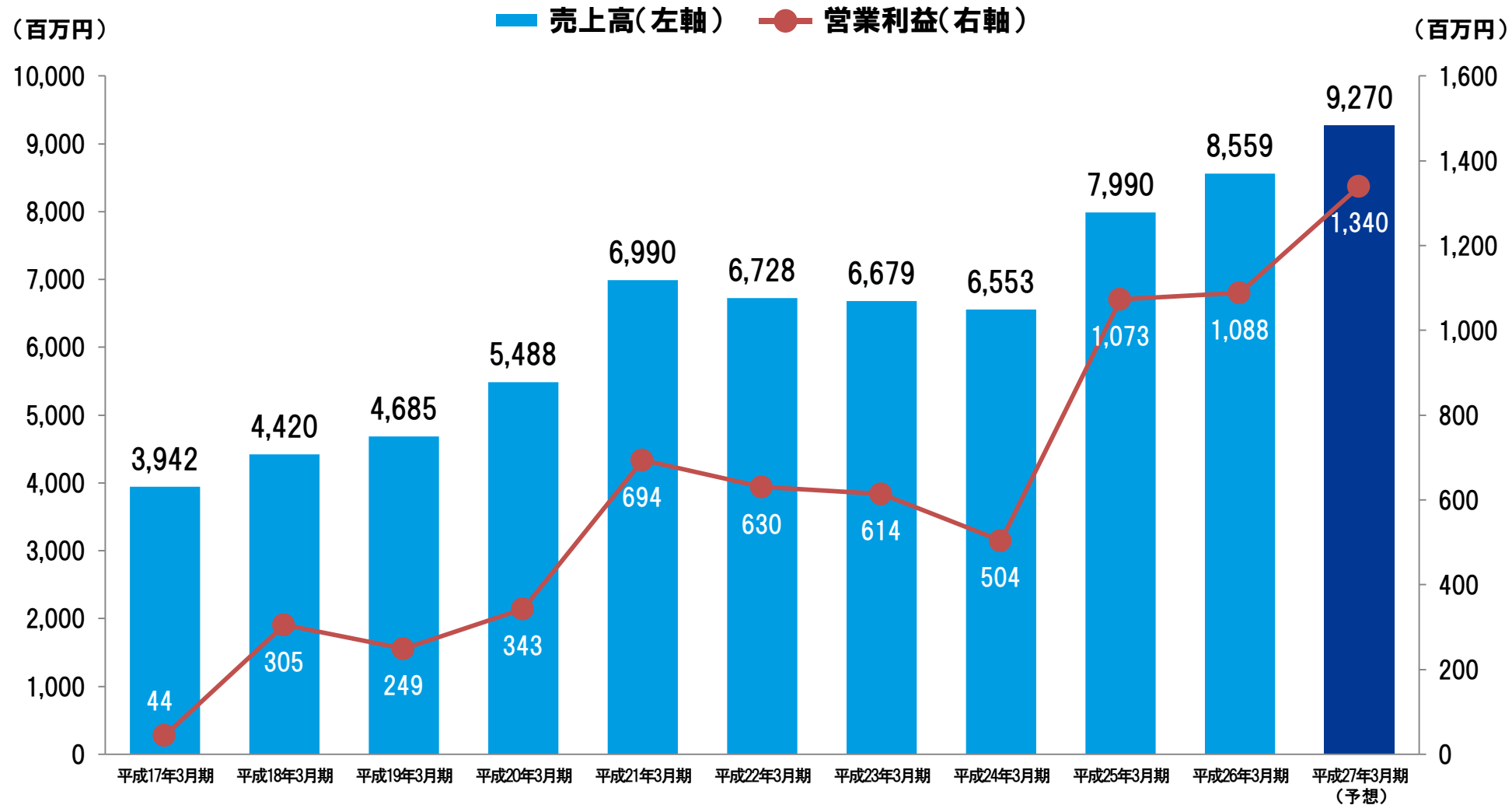
平成27年3月期:34名(実績)

平成28年3月期:25名(計画)

6. 校舎ブログの充実

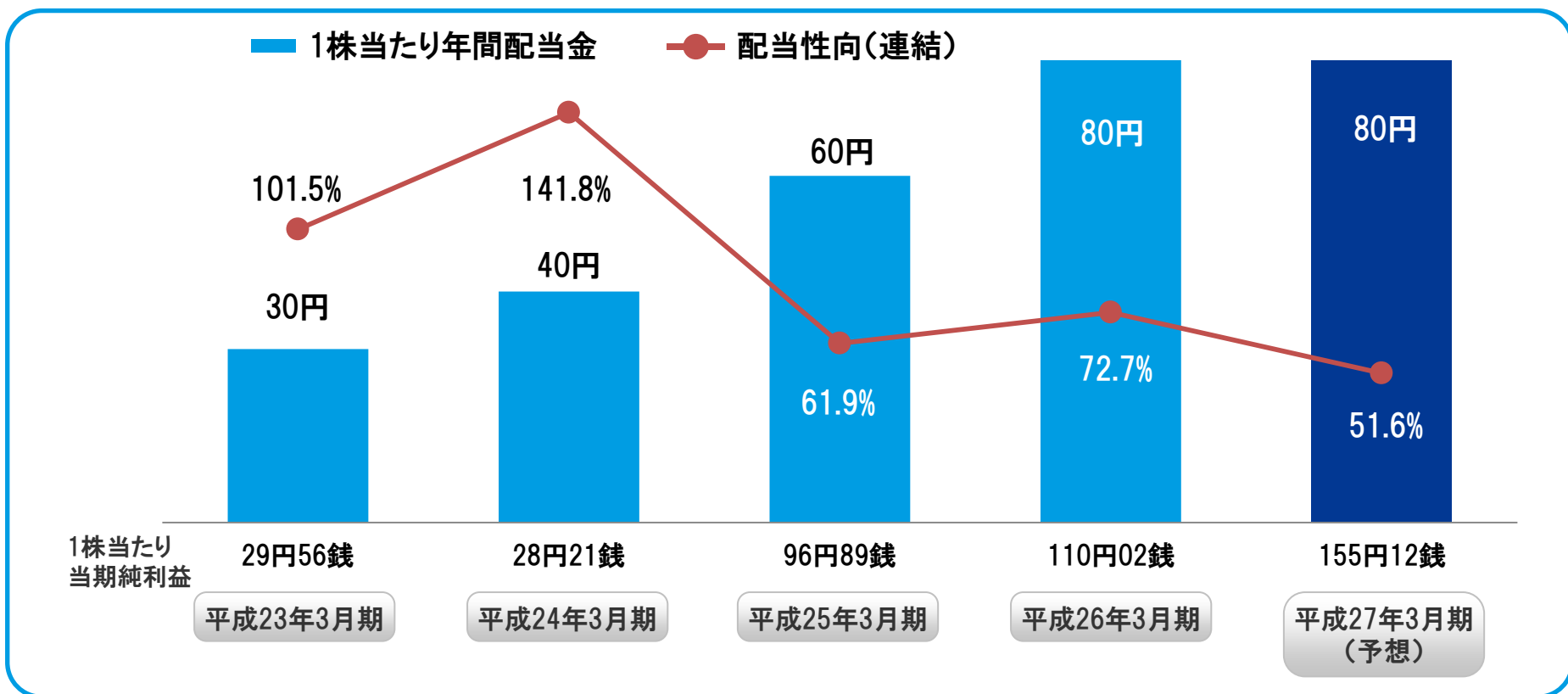
全ての校舎が、校舎単位で、最新情報をブログで配信

業績の推移



※平成25年3月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年3月期については、当該会計方針の変更を反映した遡及処理後の数値となります。

株主還元



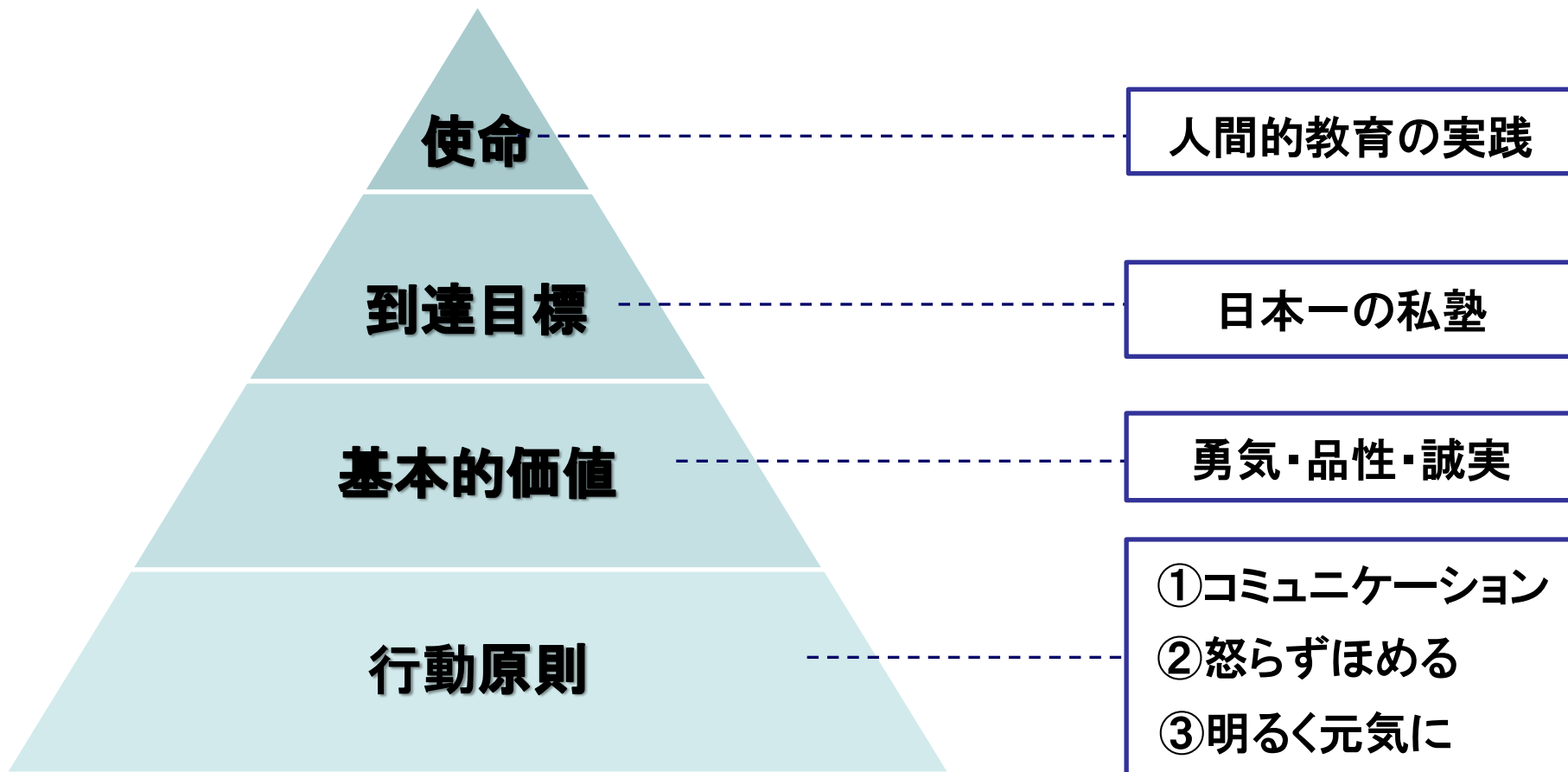
※平成25年3月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年3月期については、当該会計方針の変更を反映した遡及処理後の数値となります。

利益配当の基本方針

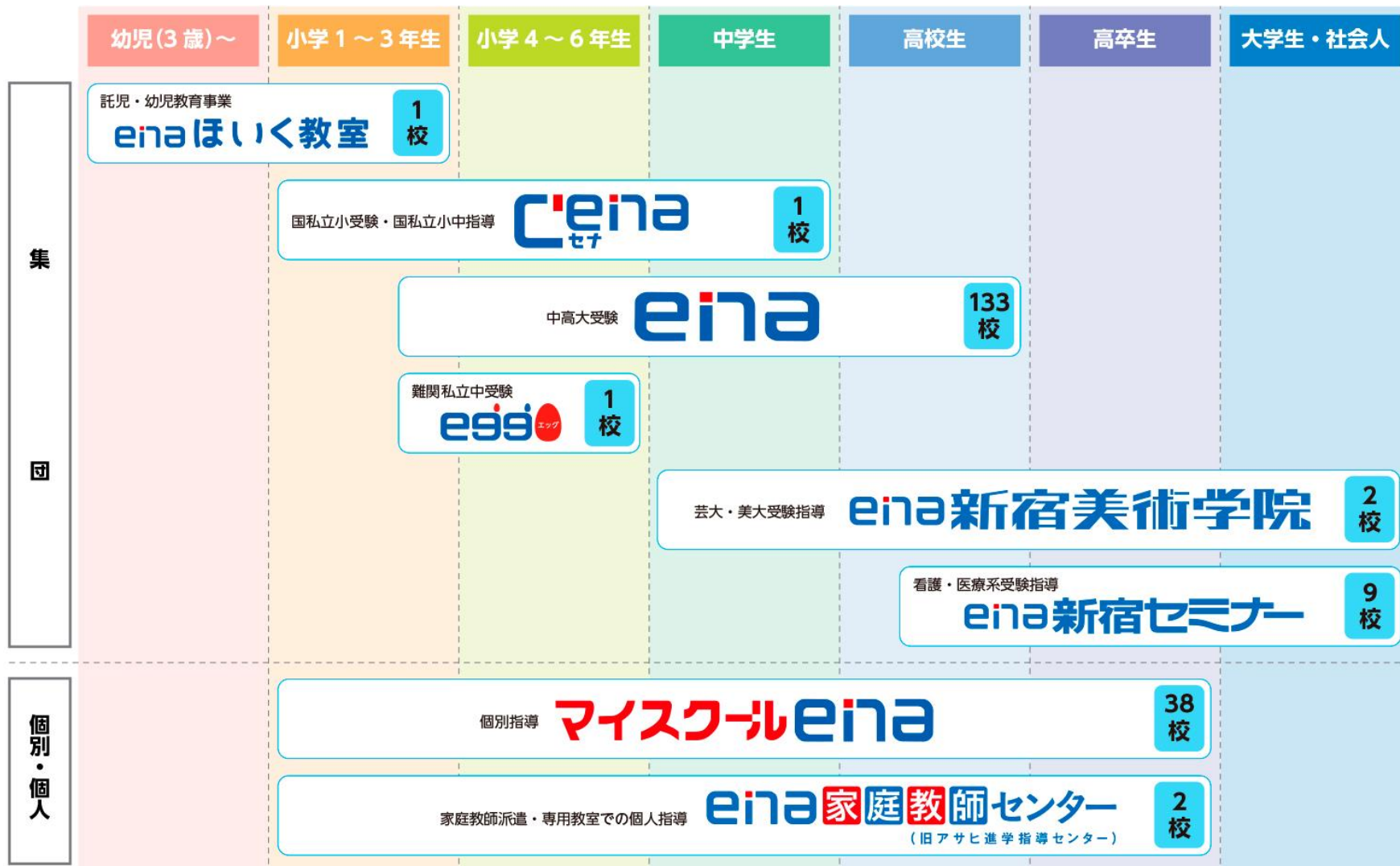
長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに、株主の皆様への業績に対応した成果の配分を行い、利益還元を強化してまいります。

Ⅲ. 参考資料

■学究社グループ経営理念



G 学究社 当社ブランドの特長（参考）



幅広い年齢層に対応した、生徒・保護者様からのさまざまなニーズにこたえるブランド構築

※校舎数は平成26年5月23日現在。

校舎・授業風景(参考)

[校舎外観]



[校舎内の様子]



[授業風景]



[清里合宿場(旧 清里自然学校)]



本資料に掲載されている株式会社学究社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社学究社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IRお問い合わせ

管理本部IR担当

TEL : 03-6300-5311

E-mail : ir@ena.co.jp